

スポット

氷川町郷土資料館



郷土歴史資料館 (鹿野)

県道八代松橋線(県道14号)沿いに、郷土資料館があります。町の資料によると、この建物は平成4年当時の竹下内閣が提唱した「ふるさと創生事業」で、当時竜北町では町の歴史資料の展示と人材育成をおこなう目的で資料館が建設された。当時は、竜北町出身で外務大臣などを務めた内田康哉の業績をたたえ、また、土地は内田健一氏、資料は内田良哉氏に寄付していただいた」と記されています。

先日、資料館を訪ねてみました。館内には、池もあり緑もきれいで、ゆったりとした気持ちになれます。中に入ると、竜北の歴史がよくわかる資料があります。なかでも「干拓事業」は大変勉強になりました。内田康哉記念室もあります。氷川町はほとんどがこの干拓事業で出来ています。みなさんも一度立ち寄ってみてはどうですか。資料館には、図書室もあり、学校の帰りなどに子供たちが立ち

寄っているそうです。町民の憩いの場となっています。

当時、熊日新聞に町民の方が投書されていますが「竜北町では干拓の歴史や日本外交に大きな足跡を残した内田康哉氏の業績を知ることができた。(略)：今後は学校5日制も導入される。地域との触れ合いも重要となる。：館への案内。分りやすい説明板の設置なども必要ではないだろうか。」とありました。

もっと、町民のみなさんに一度見学に行ってほしいです。



展示されている農具

編集後記

業者・議員・職員が逮捕されるという「事件」が起き、町民のみなさんに大変心配をかけています。推移を見守るしかありませんが、一人一人の議員が襟をただし、町民のみなさんに信頼してもらえらるるよう努力しなければならぬと決意しています。

あの暑かったのが嘘のように朝晩は寒さを感じるようになりました。一雨ごとに寒くなるといいますが、本当にそう感じます。議会広報誌紙の編集作業の日、竜北グラウンドでは、町民の高齢者のみなさんの元気な声が聞こえます。グラウンドゴルフ大会です。カメラを見て「写真撮って」の声、和やかな声に、ほっとしたひと時でした。

三神宮秋の大祭

表紙の
ひとこと

10月13日は、三神宮秋の大祭です。祭りの花形は何と言っても「神馬」です。毎年宮原地区の若者が「神馬」を奉納しています。今年は45年会(昭和45年生まれ)の人が中心にとりくみ祭りを盛り上げてくれました。また、この日は、宮原小学校も午前中はやめに授業を終わり祭りに参加します。神輿行列、各地区の子供会が繰り出す、子供御輿、最後尾は原田地区子供会の「亀蛇」とつづいていきます。氷川中学校の御輿も参加しました。